

# 2015年度第3回先端社会研究所定期研究会 (第4回中国国境域／雲南班研究会)

科学研究費・基盤研究(C)「中国雲南省の少数民族における文化変容に関する社会学的研究」共同研究会

**題 目：**「民意」のゆくえと政府のアカウントビリティ

**講 師：**梶谷 懐氏 (神戸大学大学院経済学研究科 教授)

**日 時：**2016年1月23日(土) 15:00～17:00

**場 所：**先端社会研究所セミナールーム

(関西学院大学上ヶ原キャンパス社会学部棟3F)

## 概 要

日本を代表するリベラリストであった石橋湛山について中国文学者の竹内好が「自由主義者にしてアジア主義者」という希有な例だとして評価したことはよく知られている。そしてそのような「アジア主義(アジア重視の姿勢)」と「リベラリズム」との「相性の悪さ」は、戦前だけでなく、現在の日本社会にも受け継がれている。政府間の緊張が続く東アジアにおいて、リベラリズムを共通の価値観とする公共圏を創出することは可能だろうか。「民主」「憲政」「公と私」といった言葉の意味にこだわりつつ、その可能性を探りたい。

## 講師紹介

神戸大学大学院経済学研究科教授。博士(経済学)。専門は現代中国の財政・金融。2001年、神戸大学大学院経済学研究科博士課程修了。神戸学院大学経済学部准教授などを経て、2014年より現職。主な著書に『現代中国の財政金融システム：グローバル化と中央－地方関係の経済学』(名古屋大学出版会、2011年)、『「壁と卵」の現代中国論』(人文書院、2011年)、『日本と中国、「脱近代」の誘惑』(太田出版、2015年)などがある。

多数のご参加をお待ちしております。

(お問い合わせ先：先端社会研究所事務局 Tel：0798-54-6085 / E-mail: asr@kwansei.ac.jp)



KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY

2016年1月  
先端社会研究所